

列車運行・災害 モニタリングシステム

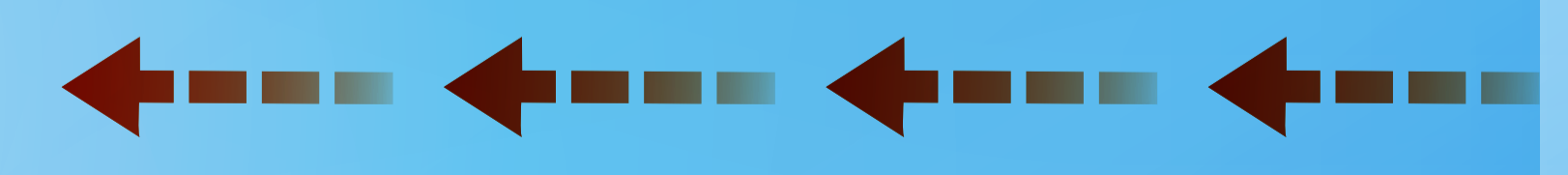
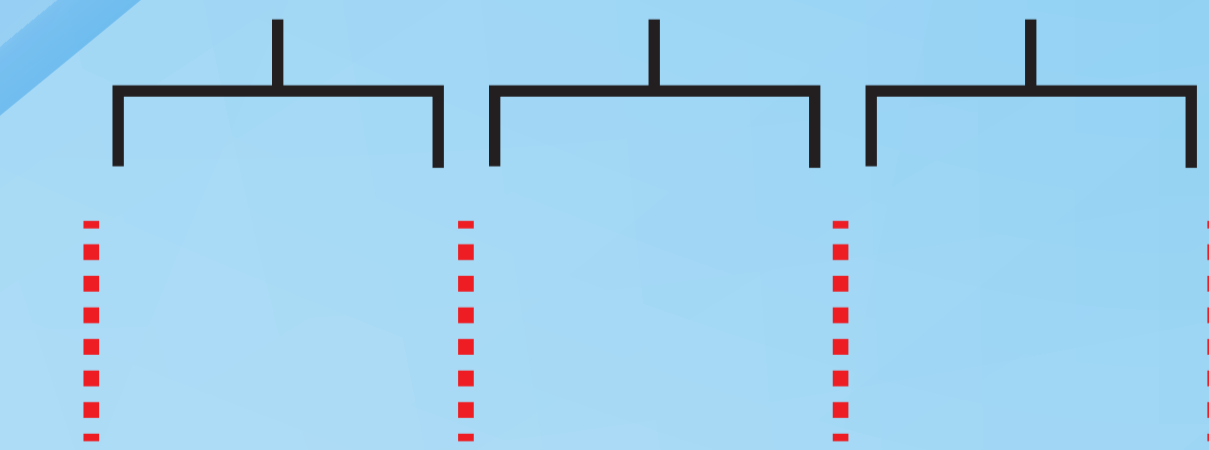
既存の光ファイバに接続して、列車の運行状況を高精度で監視可能
土砂崩れや倒木、地震の発生を瞬時に検知し、素早い初動対応が可能
OptaSense 社（イギリス）で開発され、ヨーロッパ、アメリカ、
中東の鉄道会社で採用実績あり



レーザーパルス

光ファイバーケーブル

それぞれがマイクロフォンとして音・歪検知



レーリ-散乱光

アプリケーション

- 鉄道(倒木、脱線、人の立ち入り等の検知)
- 自然災害(土砂崩れの発生、地震・津波の発生等)
- パイプラインの漏れや異常検知
- 警備保障(空港や重要施設周辺の人や車の立ち入り検知)
- 道路(渋滞状況の検知、老朽化による道路の歪検知)

仕様

測定距離	最長50km
波長	1550nm
AC電圧	100V-240V
ファイバタイプ	通信用シングルモードファイバ (ITU-TG.652,654、その他外径 125 μ mのシングルモードファイバ)
コネクタタイプ	E2000コネクタ(APC研磨)
寸法/重量	133mm × 435mm × 455mm/17kg

製造元
販売元

OptaSense (UK)



HARADA

原田産業株式会社 AIFチーム

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-2-1 東京海上日動ビル新館

TEL:03-3213-8391 FAX:03-3213-8399